

## 平成14年度弁理士試験論文式筆記試験問題

### [ 行政法 ]

A市では、大規模マンションの建設が相次ぎ、公園・小学校等の整備が人口の急増に追いついていない。そこで、開発業者Bが、大規模マンション建設につき必要な法令上の申請をA市に対して行ったところ、A市はBに対して申請を取り下げ、建設を2年間先送りすることを求め、あわせて、建設時期を問わず、公共施設整備のための協力金を支払うよう要請し、支払わない場合には、市の水道について給水を留保することもあると表明した。

A市のBに対する対応の法的問題点につき論じなさい。

【50点】

## 論点 [ 行政法 ]

行政指導の法的限界についての理解を問う。

- ( 1 ) 地方公共団体の行為に対する国の行政手続法の適用関係
- ( 2 ) 行政指導の継続に関する判例の準則と行政手続法の規律
- ( 3 ) 給水拒否の「正当の理由」の解釈
- ( 4 ) 給水拒否を背景とした行政指導の違法性